

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 02月25日				
あっとほーむ 高井東						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4	玩具などは指導室には配置せず、必要な時に口頭および絵カードにて要求が合った場合に出すようにしてスペースの確保をおこなっている	各部屋の間取りが狭く、物も多くあり活動のスペースが限られてしまっているためスペースの確保が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	人員基準以上の配置はされている	重症心身障害児など比較的障がいの度合いの重い利用者が多いため、職員の配置数をもう一人増やせると良い
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	部屋と部屋の間に段差はなく、玄関もスロープとなっており、バリアフリー化されている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	清掃と消毒を毎日おこなっている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	利用者の特性に応じて個別の部屋を使用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	雇用形態に関わらず全員が参加できるようにしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	事業所評価の結果や意見を職員間で共有し、改善の話し合いの場を設けている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎月定例会議をおこなっている また定期的に個別での面談を実施している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		定期的な第三者委員会による外部評価を受けていないため今後実施を検討している
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	定期的に法人内にて内部研修をおこなっており、希望や必要時には外部研修に参加している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援プログラムを作成し、保護者に配布およびホームページに掲載している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	6ヶ月毎に保護者と面談をおこない課題やニーズを確認し計画案を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	計画案を基に担当者会議を開催し作成にあっている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	計画に基づいて個別での日々の支援目標を設定し支援にあたっている	個別の支援について職員、パートを含めて全員で話せる時間があると良い
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	適応行動の状況はアセスメントシートを用い、日々の行動観察の記録はケース記録を用いて確認している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	利用者と家族の意向や5領域をふまえながらその子に必要な支援内容を設定している	地域支援・地域連携が今後の課題として検討する必要があると捉えている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	チームで意見を出し合いながらひとりひとりに合わせた活動プログラムとなるようにしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節行事、創作活動など様々な工夫がされ、利用者も保護者も喜んでいる様子が見られる	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	施設の特性上、個別活動をメインにおこなっているが適宜集団活動も取り入れながら支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	その日の利用者の様子など情報を共有しているまた業務日誌などの記録を確認するようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援の前後に職員間で打ち合わせをおこなっている また支援中に気付いた点は都度職員間で共有している	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々個別のケース記録に記載し、振り返りやケース会議に活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	6ヶ月毎にモニタリング（面談）をおこない必要があれば児童発達支援管理責任者判断の元、6ヶ月を待たず見直しをおこなう	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	利用時間が短時間の場合でも可能な限り複数組み合わせをおこなえるようにしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	使いたいものややりたい事などを絵カードにて選択、提示してもらうように支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	サービス担当者会議や関係機関との会議は児童発達支援管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	学校とは密に連絡を取り合ったり様子を口頭で伝えてもらうなど連携を図るようにしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校からの情報は学校からの指示により保護者からもらい、連絡調整は適宜電話にて連絡を取り合っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	担当者会議に参画し、情報共有に努めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		担当の相談員を介して情報を提供することが多いが、直接情報を提供することも検討していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		児童発達支援センターとの関りが希薄なため関わる機会を設けていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		地域のこどもと活動したり関わった事がない 次年度に地域の行事に参加を計画している
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	自立支援協議会のメンバーではないが、主催のケース会議や研修会に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	お迎え時や送迎時に保護者とその日の様子や状況を話すようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		家族向けの研修会の開催や外部の研修会の情報提供をするように努める
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	利用契約時に分かりやすいように配慮し説明をしている また利用者負担に変更があった場合も都度説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	保護者との面談の際に意向の確認をおこない利用者本人にも可能な場合は意向を確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	計画内容の説明をおこない同意のサインをいただいている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	迎え時や送迎時に相談されることが多いが適宜対応している またこちらからも相談を促したりしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者会を年度末に開催している	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会がないため、どのような形でここののが良いかが検討している
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情受付担当や苦情申立先を記載したものを玄関先に掲示して周知を図っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	Instagramや公式LINEを使い普段の様子やおたより普段の連絡ツールとして活用している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報には鍵付きの書棚に保管し、写真等については使用する場合は使用の承諾書を保護者からもらい顔と名札の部分にスタンプで隠して掲載している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	保護者とは電話だけでなくLINEで連絡を取るなど連絡しやすい体制をとっている こどもに対しては絵カードなどの視覚支援をおこなって	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		地域との関りがいないため今後の課題として検討していく

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		マニュアル等をすぐに確認できる場所にもあった方がよい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを策定し計画的に火災、水害、地震と避難訓練をおこなっている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	利用契約前に必ず確認し、服薬等の変更があった場合も都度保護者から伝えてもらうようにしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	利用契約前に必ず確認し、必要がある場合は	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し計画に沿って定期的に研修や訓練をおこなっている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	利用の契約時や内容に変更があった場合には保護者へ手紙等で伝えるようにしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットまたは事故・怪我があった場合は記録に残し、事業所内で共有し対策を検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止と身体拘束についての社内研修をおこない、社外研修に対象の内容が開催されたら参加するようにしている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	対象者は現状いないが、おこなう場合は保護者と協議した上で計画書に記載しおこなうようにしている	